ケイ酸肥料のスペシャル

シリカ水



ケイ酸成分：16%

NET：5 L





シリカ水（製品）の特徴

シリカ濃度16%で使いやすい液状タイプです。
特殊な製造方法でカリウムやカルシウムなどは
含んでいません。その他一般資材と混用散布も可能です。

シリカ水の期待される効果

1. 光合成能力向上
2. 根域の充実（根張り）
3. 病害の耐性向上
4. 高温障害軽減
5. 生育の促進

使用方法

作物	希釈倍数	使用時期
葉菜類	1000～2000倍	本葉5枚前後に2～3回
果菜類	1000倍	生育前半から収穫期
水稲	1000倍	① 播種後の緑化期 ② 田植後30日又は出穂30日前

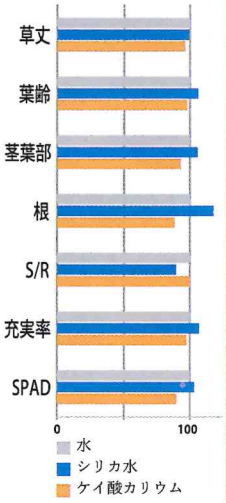
販売元
アグリ技研株式会社
〒839-0863 福岡県久留米市国分町 1151-1
TEL:0942-45-5800 FAX:0942-45-5200
E-mail:fka@agurigiken.jp

アグリ技研株式会社
ホームページから
最新情報をチェック！
https://agurigiken.jp

シリカ水の試験データ（希釈倍数1000倍で散布）

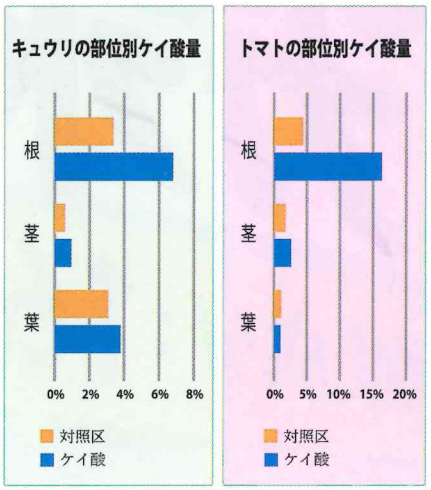
「あきたこまち」への施用試験

区(追肥資材区)	水	シリカ水	ケイ酸カリウム
草丈 (cm)	24.7	24.5	23.8
葉齢	4.7	5.0	4.6
茎葉部乾物重(mg)	103.8	109.9	96.6
根 (mg)	56.6	66.8	50.1
S/R比	1.9	1.7	1.9
充実率 (mg/cm)	4.2	4.5	4.1
葉色 SPAD値	30.2	31.2	27.2



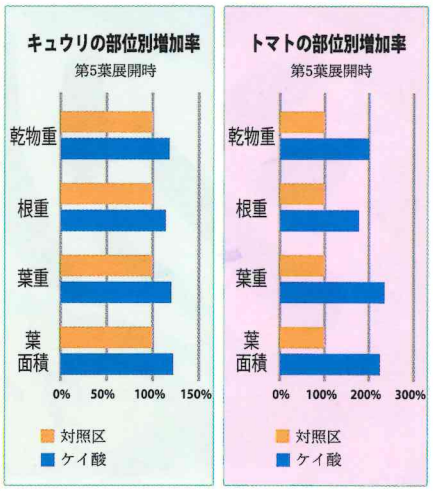
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科に　播種後26日苗・n=60

ケイ酸分析



測定は第5葉展開時　自社温室試験

生態調査



自社温室試験



水稲の育苗

水稲育苗緑化期に1～2回、1000倍で散水することで茎葉は硬くずっしりとした健全な苗になります。
「コメとれーる」と併用することで更に充実した根張りの良い苗に仕上がります。



育苗期からの使用

育苗期から定期的に使用することで葉柄の締まった生育となります。
多湿時に使用することで病害抑制効果にも期待できます。



アスパラガス

高温時期や多湿時期に使用すると、茎葉の硬化対策となります。



果菜類

生育期に使用することで葉は厚く硬くなり、生育全般に良くなり病害抑制効果にも期待できます。

葉菜類

高温時期の葉菜類に使用すると、蒸散抑制効果を発揮し棚持ちも良くなります。



使用上のご注意　・石灰硫黄合剤、銅剤、アルカリ性資材との混用は行わないで下さい。
・直射 日光、高温多湿を避け、乳幼児の手の届かない場所での保管管理をお願いします。